

式典經

五十四年十月二十八日
晴れの美しい日であつた。
前十時を過ぎると早くも
大に母校で行われた。
五十五周年を祝う行事が
久しぶりに見る母校とそ
の挨拶、懐しい会話にて
に目を見張る者、旧友
が盛況であった。広い
ホールの一角には、同窓
会場がありその入口に
玄関前に設けた受付は
ずませる者、十一時頃
新しい旧校舎の階段にあ
るが二つ据えられていて
教室に昇降する時
この上の丸い頭を何
千もの手が撫でたも
のだ、中には旧制時
代の同窓会の「会報」
「洗心」戦後の「一
田学苑」などが展示
され、懐しい写真も

母校創立を祝う

一、在校生代表のことば
　一、校歌齊唱

五十年を祝う式場は二階音講堂に設けられた。音楽教室と講堂を兼ねたもので、旧舎の講堂と比べるとやゝ狭いが、周囲には紅白のが張られ、厳肅な雰囲気がついていた。来賓、旧職員、先生、在校生が着席。式典予定より少し遅れ、久保頭の開式の辞で始った。杉校長が式辞を述べ、その中で昭和四年開校の経緯、母校十年の歩みを詳細にお話しなった。戦時中、戦後の混期を経て、新制高校になりわれわれ卒業生の大きな誇りといつてよい。次に東京教育委員会からの祝辞があり、東京都立通高等学校長協会会長

富川孝一 在校生
代表としては生徒会長人野喜三男君が挨拶、全員で校歌を齊唱して式典を終った。
式典の中ばから緑々とつめかける卒業生で予定された席も埋まり通路に立つ人も多く、母校五十年の重みが、式典会場にあふれた。来賓、旧職員が控え室に去り、在校生が退場して、卒業生のみ式場に残る。短時間ではあるが、多数出席の機会に青葉会総会を持つためである。

して都立向丘高校校長柴野先生が祝辞を述べられた。菊野先生は昭和三十八年頃本校定時制で、国語の時間講師をされたこともあるゆかり深い先生とのことです。つづいて旧職員を代表されて、第四代校長鈴木桃太郎先生が登壇、戰後間もなく物質欠乏時代、夜学の灯が、時折停電に見まわれる当時、向学心に燃える生徒が毎日通い続けたこと、また伝統的給食がその頃も続けられたその苦労話などをされた。その後、PTA会長高木さん、恭氏が

の同窓会活動については機
紙「ともがき」の刊行と、
員名簿の整備を軸として運
次々に会則変更については
田副会長より從来同窓会会
は学校長がこれにあたり、
たり、
周
三名内一は主事
(二名は幹事互選)がこれ
あたることとなっていた規
事制より移行した教頭は名
副会長となり、会長及び副
長は同窓会幹事の互選によ
り改めた点などの説明を行
た。

自起立して黙禱をささげた
このあと議長に会員の染
氏が選出され、
○ 総会次第 ○
一、挨拶、経過報告
二、会則変更
三、会計・監査報告
四、名簿刊行の件
五、同窓会活動のあり方に
いて、以上の議題に從
て会議が進められた。

祝賀会は当日の主要行事であり、同意会、母校P.T.A.丸となって事前検討を重ねてその日を迎えた。会場には体育馆があてられ、外部からの出張パーティの形式をとった。午前中から人々と準備が進められ、昼過には既に万端整つた会場にはB.G.M.が静かに流れている。正面にステージがつくられ、その脇には祝いの瓶が十ヶ積み重ねられた。ステージの前には来賓、旧職員のためのメーンテーブル、中央には料理用の大テーブルが二ヶ所に設けられた。

計より報告 五十周年勧募状況の報告も行った。高市監査の報告の后、会員名簿刊行について斎藤副会長より「卷末に縦索引をもうけた画期的な名簿となつたが、今日に間に合わせるべく拙速をとつて作成したのでミスが目立つ点は御説解を願い、今后この名簿をひとつ足がかりとしてより完全なものに整備していくたい」と報告し、住所変更等の場合必ず青葉会宛連絡をしてほしいとの要望がなされた。最后に同窓会活動の今后の方針、執行部への要望等若干の質疑応答がなされ、閉会となつた。

会長が挨拶、次いで学校長杉村親一先生が式典とは連った記念文庫、16ミリ映写機等の記念品目録贈呈が行われ、いよいよ鏡開きにうつる。前学校長谷部正治先生が予め用意された蓋は被りの一つに力強く木槌を振下す、万場喝采の内に升酒が配布された。乾盃の音頭は前定時制教頭で現在都立八潮高校々長小沢正義先生によつてなされ、待ちに待つた会食に入る。立食バイキング方式なので料理台に足を運ぶもの、飲みものをつき合うもの、友達との語らい、子供のはしゃぐ声、今迄静かだった会場はわられるよう、はなやいだ雰囲気になり、司会の放送も打消され勝であつた。暫らく歓談があちこちのテープルで花が咲いたが、司会か

スピーカーが祝賀会場入場を促す、来賓、旧職員が先ず入場、続いて総会を終った卒業生達が久しぶりに会った旧友と談笑しながら続々と入って来る。当然のことながら女性が圧倒的に多く、お母さん連れられた子供達の声が賑やかさを増していた。

進行係から祝賀会の開会宣言され、開会の言葉がP.T.A副会長尾敬氏によつてなされ、実行委員長高木PTA

電々公社係長	愛知県立芸大教授	キソ一工業株社長夫	宅地開発測量設計課 社長夫人	第6回 昭和29年3月卒業生
中野翠リーニング店 店主夫人	中野翠ノ宮北郵便局 局長夫人	大阪商船三井船舶勤務	中野翠リーニング店 店主夫人	中野翠リーニング店 店主夫人
ユース株社長夫人	株清美社社長夫人	株清美社社長夫人	ユース株社長夫人	ユース株社長夫人
和十年卒業安達清子(旧平井)	和十年卒業安達清子(旧平井)	和十年卒業安達清子(旧平井)	和十年卒業安達清子(旧平井)	和十年卒業安達清子(旧平井)
さんがあひ舞をやりたいとの申 出があり、すでに衣裳も持參 しておられた。安達さんは遠 の入ったすばらしい舞を披露 して下さった。	らアーブルスピーチの声があ り旧職員、卒業生有志が今日 の喜びを語った。その間に昭 和十年卒業安達清子(旧平井)	三前指	三前指	三前指

創立五十周年	貯金局勤務
石田技研株社長	貯金局勤務
笛の先生	貯金局勤務
国士館大学教授	貯金局勤務
貯金局勤務	貯金局勤務
日黒十中教諭	貯金局勤務
中野クリーニング店	貯金局勤務
株池伝次郎	貯金局勤務

坂	古谷
人貝塚	兑子
飯山	裕子 <small>(吾郷)</small>
中野	恵子 <small>(浅川)</small>
神崎	恵子 <small>(大塚)</small>
藤本	敬子
佐藤	千代子
上村	久子 <small>(佐藤)</small>
藤文	子
（斗光）	（高橋）

記念
井石
内山田塚塚英祐一弘勝
内旧性